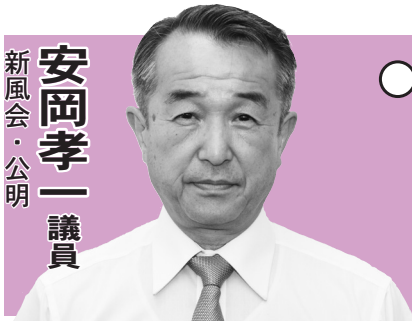


新風会・公明
安岡孝一
議員



○車椅子タクシーの導入について

その他の質問

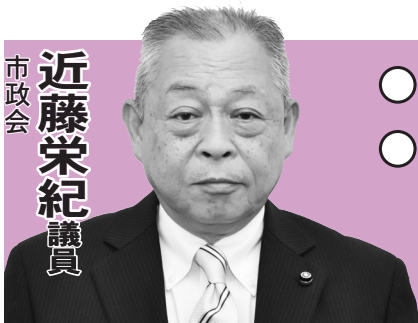
- ・クマの大量出沒への今後の対応について
- ・「ナッジ」理論の活用について
- ・市民からのご要望について
- ・食品ロス削減について

問 現在、車椅子のまま乗り降りできる車椅子タクシーが勝山のタクシー会社にはないので、必要な方は大野市まで頼んでいる。タクシーが来てくれるまで時間がかかり、不便な思いをされている。勝山市にも車椅子タクシーは1台あるが、施設関係の予約があり、通常の利用が思うようにできないそうである。私もこの話を聞いて、家で寝たきりの方がいるお宅や、車椅子での生活をされている方に話をお聞きしたところ、タクシー会社に車椅子タクシーがあれば買い物やちょっとしたお出かけ、病院にも連れて行きたいとのことであった。しかし、導入したからといって、すぐに需要が増えるわけではないが、これから高齢化が進むので、長い目で見れば必要になってくるのではないかと思う。今はユニバーサルデザインタクシーというのがあり、高齢者、車椅子

利用者、ベビーカー利用者、妊娠中の方など、みんなが使用できるタクシーがある。このようなタクシーの導入は、最終的にはタクシー会社が決めることだが、市から導入の要請を促したり、導入費用が必要であれば助成できるようにしたり、車椅子などで生活されている方のためにも、またこれから高齢化が進む中で、みんなが社会参加できるように、車椅子タクシーの導入が必要と思うが市の所見を伺う。

答 タクシー事業者が車椅子タクシーを導入する際には、国土交通省の地域公共交通バリア解消促進等事業の補助制度があるので今後、タクシー事業者から相談があった際には、これらの補助制度の情報提供に努めると共に、スムーズな導入に向けて、行政としてどのような支援が可能か研究していきたい。

近藤栄紀
議員
市政会



○ハザードマップの改訂について ○防災士について

その他の質問

- ・福井県立恐竜博物館リニューアルについて
- ・長尾山総合公園整備事業計画について

問 大雨や台風被害が相次ぎ、各地で浸水と土砂災害が発生しており、ハザードマップの見直しが必要であるが、改訂状況を伺う。

答 昨年6月4日に福井県は、水防法第14条第1項の規定に基づき、水位周知河川として九頭竜川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定をし、令和2年度に洪水予報河川、水位周知河川以外の河川についての水害リスク図の公表を予定していることから、当市のハザードマップの更新については令和3年度を計画している。

問 現在、防災士は何名登録されているか。県防災会や企業・地域の自主防災組織で活動されている人もいるが、地域防災力の向上のため防災士組織の一本化を検討してはどうか。

答 昨年3月末現在、当市において240名の方が防災士として登録されている。防災士の資格を取得された方は、地域の防災力を高めるため、各地区の自主防災組織の防災訓練などに参画し活動されたり、福井県防災士会に入会しスキル向上に取り組まれている。また、福井県防災士会会員の勝山市在住の防災士の方に依頼し、講師、アドバイザーとして勝山市総合防災訓練や防災研修会などにおいて、地域住民の防災意識の高揚のため活動をして頂いている。

市独自の防災士組織づくりについては、今後の課題として考えている。福井県防災士会のアドバイザーや助言をいただく中で、市内の防災士として活動されている方を中心に新たな防災士組織づくりについて検討していく。